

# 令和3年度 教育行政執行方針

奥尻町教育委員会教育長  
新谷 順二



6月17日に開催された「令和3年  
第2回奥尻町議会定例会」にお  
いて、新谷教育長の「教育行政執  
行方針」が示されました。  
その内容についてご紹介します。

## はじめに

新型コロナウイルス感染症が全道・全国に拡大する中、本町においても昨年はクラスターが発生するなど感染が拡大し、学校の臨時休業や社会教育施設の休館、各種行事の中止など、児童・生徒の学習や町民の文化芸術、スポーツ活動にも大きな影響を与え、今年度

においても変異株による感染が拡大するなど、新たな脅威となっており、未だ先行きが見えない中、学校運営や社会教育活動、各種行事等への影響が懸念されているところであります。

このような中、2030年の社会と子どもたちの未来を見据え、新学習指導要領が小学校では令和2年度から中学校では今年度から全面实施され、高等学校では令和4年度から年次進行で実施されます。本指導要領においては「社会に開かれた教育課程」を目指し、「生きる力」を育むという理念を共有し、「主体的・対話的で深い学び」の現に向けた授業改善や「カリキュラム・マネジメント」の確立を図っていくことが求められています。

コロナ禍という歴史に残るような時代ではありますが、奥尻町の未来を切り開く子どもたちには、改めてどのような時代であろうとも「生きる力」を育むためのより良い教育環境と、町民一人一人が個性と地域特性を活かしながら、豊かな心と郷土愛を持つ人づくりを実現するため、町長が定める奥尻町教育大綱に掲げた「ふるさとに学び、

次代を担うあたたかい人づくり」を目指し、誰もが学びを止めることのないような環境を整える必要があります。

教育委員会といたしましては、引き続き感染予防対策に努め、町民の誰もが安全で安心な学びの場や教育活動の機会を確保できるよう関係機関や団体と連携を図りながら、教育のさらなる充実に取り組んでまいります。

## 学校教育

主な施策のうち、はじめに学校教育について申し上げます。

第一は「確かな学力の育成等」についてであります。

各学校においては、全国学力学習状況調査、ほっかいどうチャレンジテスト、標準学力検査などを活用した成果や課題等の分析結果を踏まえ、組織的な学習指導の改善に努め、基礎・基本の確実な習得を図る家庭学習の充実を目指すとともに、国において進める「GIGAスクール」構想に基づき、昨年度整備した1人1台端末の効果的な運用を図るため、企業等と遠隔学習やデジタルドリルなどを活用した新たなICT活用教育の実証モデルの構築に向け「奥尻教育STEPIUPプロジェクト」に取り組むなど、確かな学力向

上に努めてまいります。

さらに、グローバル化の時代にあつて外国語教育の重要性が増していることから、今後も英語教育を充実するための外国語指導助手（ALT）の配置を継続いたします。

教育上特別な支援を必要とする子どもへの対応については、幼稚園や町等の関係機関と連携・協力を図り、個別の指導計画や支援計画に基づいたきめ細かな指導の充実に努め、必要に応じた別支援学級の設置や特別支援教育支援員の配置に取り組んでまいります。

第二は「豊かな心を育てる教育の推進」についてであります。

子どもたちの豊かな人間性を育むためには、命を大切にする心や他人を思



奥尻中学校GIGAスクールの様子

いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身に付けることが重要であります。

このため、基盤となる道徳教育につきましては、各学校の道徳教育推進教師を中心に様々な体験活動を通して道徳教育の充実に努め、豊かな人間性を培ってまいります。

いじめや不登校対策につきましては、未然防止と早期発見・早期解決が重要であることから、町及び各学校で策定している「いじめ防止基本方針」に基づいた取組を継続し、学校・家庭・関係機関と連携を図ってまいります。

また「奥尻町いじめ・不登校等対策委員会」を定期的に開催し、各学校の取り組み状況、実態把握、協議等を通じて、情報の共有化を図るとともに児童・生徒がいじめ問題について自ら考え、行動する意識を高めるため「いじめ根絶子ども会議」を開催し、引き続き未



然防止に努めてまいります。

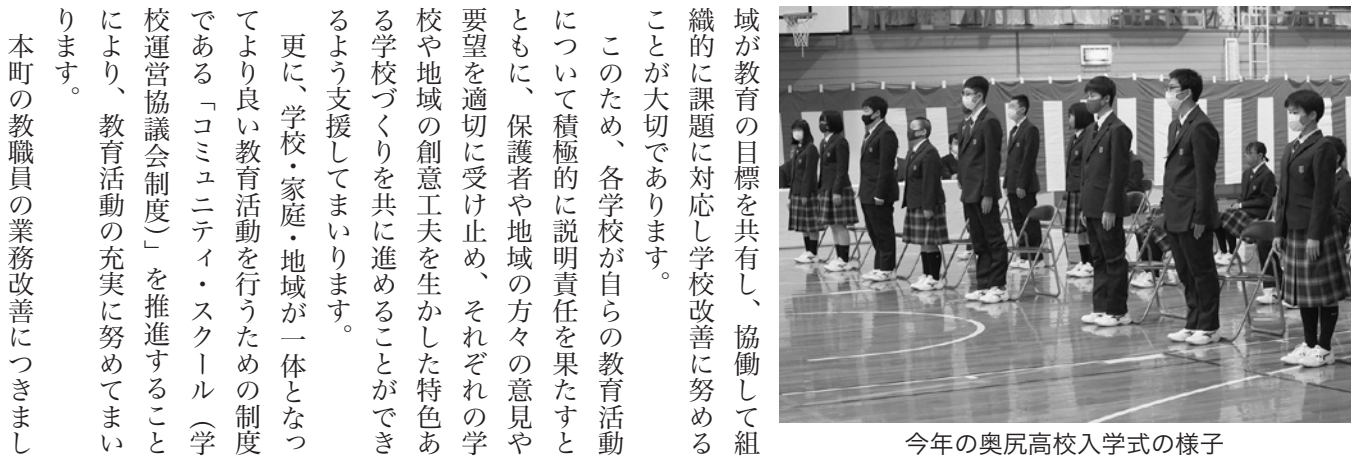
第三は「健やかな体を育む教育の推進」についてであります。

子どもたちの健やかな心身の育成を図るためには、運動を通して体力を養うとともに健康的な生活習慣を形成することが必要とされています。

このため、各学校においては「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果分析を行い、体育の授業や日常の体力づくりなどを通して体力・運動能力の向上のため継続的な取組を推進してまいります。

子どもたちの望ましい生活習慣の定着については「早寝・早起き・朝ごはん運動」や「生活リズムチェックシート」の活用などを通して、食事や睡眠など規則正しい生活の大切さの理解を深めるとともに、テレビ、ゲーム等の使用に関する家庭でのルール作りに取り組んでいただき、特にネット社会の時代、保護者、児童生徒がともに「ネットの危険を理解したうえで活用する」という意識を持つことが重要であることから、児童生徒への指導、家庭への情報発信に努めてまいります。

第四は「信頼される学校づくり」についてであります。



今年の奥尻高校入学式の様子

地域が教育の目標を共有し、協働して組織的に課題に対応し学校改善に努めることが大切であります。

このため、各学校が自らの教育活動について積極的に説明責任を果たすとともに、保護者や地域の方々の意見や要望を適切に受け止め、それぞれの学校や地域の創意工夫を生かした特色ある学校づくりを共に進めることができるよう支援してまいります。

更に、学校・家庭・地域が一体となつてより良い教育活動を行うための制度である「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を推進することにより、教育活動の充実に努めてまいります。

本町の教職員の業務改善につつま

では「奥尻町立学校における働き方改革アクションプラン」に基づき、学校閉庁日の設定や部活動休養日の取組を継続するなど、今後も北海道教育委員会と連携しながら取り組んでいくとともに、全校に導入している「校務支援システム」を活用し、引き続き教職員の校務の効率化を進め負担軽減を図ってまいります。

また、教職員の指導力向上のための各種研修などへの参加を促進するほか、児童生徒・保護者・地域の方々との信頼関係を損ねることのないよう法令遵守・服務規律の保持などについて教職員一丸となつて取組を徹底してまいります。

第五は「魅力ある高校づくりの推進」についてであります。

現在進めている『まなびま「奥尻プロジェクト」を、行政と高校が一丸となつて取り組むとともに、引き続き道内外での学校説明会や体験入学などの生徒募集活動をきめ細かく行つてまいります。

次に、島留学生の受入れ態勢についてですが、まなびま松風寮と潮風寮の整備が終了したことに伴い、留学生の受入れに一定の区切りがつけましたが、不足分については町内の民宿等に依存してまいりますので、今後も引き続き



教育行政執行方針

まず「第9次奥尻町社会教育中期5カ年計画」では「自発的に参加し、学び、地域の活性化を図る社会教育活動の推進」「地域住民等と連携・協働し、社会全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進」「地域内や町民同士のつながりを強化し、ふるさと意識醸成の推進」「健康で充実した生活を営むため、誰もが気軽に参加できる社会体育活動の推進」「自然と文化を生かし、豊かな心を育てる地域文化創造の推進」の5つの方向性を軸に「家庭教育」「青少年教育」「成人教育」など、6つの領域による社会教育の推進を

## 社会教育

ご協力をお願いするものであります。また、令和3年度の島留学生の入学者は20名となっておりますが、多感な3年間をここ奥尻で学びたいと故郷を離れて暮らす留学生に対し、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。

次に、社会教育について申し上げます。

本町の社会教育の推進につきましては、昨年度策定し、今年度から始まる「第9次奥尻町社会教育中期5カ年計画」と「奥尻町読書活動推進計画」に基づき、着実に進めてまいります。



おくしりチャレンジスクール しまっこ探検隊

図つてまいります。

家庭教育においては、子育て中の親が不安や悩みを解消し、安心して子育てができるよう地域全体で子育てをする環境づくりに努めてまいります。

青少年教育においては、次代の社会の担い手として自立することが求められることから、青少年の「生きる力」や「ふるさとを愛する心」を育成するため、地域と子どもたちをつなぐ社会教育活動を推進し、地域行事への参加を通じた郷土愛の醸成に努めてまいります。

成人教育においては、少子高齢化が進む中、一人一人がそれぞれの能力や可能性を高めるため「奥尻町地域学び

支援ネット」や各社会教育団体の活動を通して、地域の課題解決や様々な地域活動に参画することで地域の活性化を図ります。

社会体育においては、スポーツを通して「健康づくり・仲間づくり・人づくり・まちづくり」を進めるため、スポーツ協会の活動を支援し、スポーツ推進委員会を軸に活動しやすい環境を整備するとともに、自主的・自律的な活動を促し、様々なスポーツ活動を推進してまいります。

歴史・文化においては、郷土の歴史や文化を学び、芸術文化に触れることで心を豊かにし、生活に潤いと生きる喜びを与えることから、収蔵資料の活用・保存と文化協会を軸に様々な文化活動を支援してまいります。

「奥尻町読書活動推進計画」においては、読書によって人に知識を与え、自立の基盤となることから、人の成長や発達段階に応じて、本との出会いの場や読書に親しむ機会の提供などの活動がかかせません。

このため、奥尻町海洋研修センター図書室を拠点とし、読み聞かせ団体「うみいろ」による乳幼児に対する読み聞かせや、図書室を期間限定でカフェにする「うみいろCafe」事業など、参加した子どもや保護者同士がつながる



乳幼児への本の読み聞かせ

「憩いの空間」を提供するとともに、学校と連携・協働し、読書活動の推進を図つてまいります。

以上、令和3年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

教育委員会といたしましては、コロナ禍にあつても町民の皆さんが生き生きと学び続けることが出来るよう支援するとともに、奥尻の子どもたちが心豊かにたくましく成長できるように、各教育委員ともども全力で取り組んでまいります。

議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。